

モスクワおよび全ロシアの総主教キリルより復活際に際しての挨拶

ロシア正教会の主教、司祭、修道者、諸ハリストティアニンへ

親愛なる主教たち、誠実なる司祭・輔祭、敬虔なる修道士・修道女、愛する兄弟姉妹!

本日、私たちはこの世界の救い主が死から復活したことを祝う偉大な祭日を迎えています。この光明なる日に、すべての信者は墓から立ち上がる主の姿を思いながら、神の勝利を共にします。救世主の聖なる復活の祭日において、無限の力や真実、そして喜びに満ちた言葉で、命を施す挨拶を申し上げます。

ハリストス復活!

光輝くパスハの夜は全人類に神の仁愛を明らかにします。神は人間を愛しているからこそ、万世(よろずよ)の前(さき)に天の父から生まれた主イイスス・ハリストスを藉身させ、人間の本質を罪の病から癒し、そして地獄の深みまで降りて、死の鎖を滅ぼし、私たちに再び創り主と一緒にになれる掛け替えのない可能性を与えてくださったのです。

すべてを比護する神の仁愛を受けることによって、私たちは「この世の暗闇の世君、天空に在る凶悪の諸神」に勝てる絶対的な力を持つ武器を得ることができます。(エフェソ人に達する書 6:12)

主の愛は私たちの人性の限られた能力に由来する恐怖心を開放します。神の支えは時代のさまざまな試練に立ち向かう勇気を人間に与えます。

「愛の中には恐れなし、乃全き愛は恐れを外に逐ふ、蓋懼の中には苦しみあり、懼るる者は未だに愛に全くせられざるなり。」(イオアンの第一書 4:18)

聖福音にいつも「懼るる勿れ」と使徒たちを励ます主の姿が描かれています。この言葉には大事な意味があります。

未来に対する恐怖心、さまざまな危険の恐れ、思い込みの心配などは人間の生活によくあるものです。しかし、人間の支えである主が、私たちが背かない限りいつでも側にいてくださるのです。

そして、神が死に勝利したことを記憶するこの日に、救世主が私たち一人一人に「懼るる勿れ、惟信ぜよ」と呼び掛けています。(マルコによる福音書 5:36)

この世の欺きの心を否定する私たちの態度が永遠の真実の証しになることを願っています。

現代の社会には宗教や表信の自由が備えられていますが、ハリストスの戒めに基づいて生活しようとする人はこの世の罪深い習慣や掟に立ち向かって戦わなければいけません。ハリストティアニンとして生きることは、現代の人間に大きな影響を及ぼすメディアによって強く押し付けられる罪を庇う態度とは妥協ができません。

主に心向ければ、私たちはこの世に広まっている霊的な虚しさや利己主義から解放され、復活の光を目の前にして、それに従って天の国に上達して行くことができます。一なる領聖の杯に寄り添うことによって、永久に向かって進むために必要な力が私たち全員に

与えられることを祈ります。至聖なる神\*の恩寵が私たちを強くし、私たちの霊に平和や揺るがない信仰、そして義においての成長が神から賜われるよう願っています。

ハリストスの尊体と尊血をいただきながら、私たちは聖書の言葉通り、自分の状態を変えられる「神の性にあずかる者」になれます。(ペトルの後書 1:4)

領聖機密によって、人間は救世主のようになることができます。「然れども己を虚しくして、僕のかたちを受け、人と同じき者と為りて、外形に於いて人のごとくなり、己を卑しくして、死に至るまで順ひ、且十字架の死に至れり。」(フィリップ人に達する書 2:7~8)

人間の道徳的、そして霊的な変化が社会全体、そして民族や国の生活の改善の基本的な条件となります。部分的な改善や進歩がなければ、全体も変わりません。すべての年代、社会層や政治の正しい意識は国の安定性や発展に大きく貢献するのです。

私たちの教会、国または創り主から任せられたすべての創造物の行方が、ハリストス一人一人の生活の方向性によって決められます。「主なる神は人を連れて行ってエデンの園に置き、これを耕させ、これを守らせられた。」(創世記 2:15)

愛する兄弟姉妹！復活した主、地獄を滅ぼした神においての絶えることのない喜びや日々の働きを支える豊かな恩寵が永遠にありますよう、心からお祈り申し上げます。

実にハリストス復活！

アミン。

モスクワおよび全ルーシの総主教  
キリル

モスクワ  
ハリストスのパスハ。  
2012年